

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 堺市中国帰国者交流会

1 事業の趣旨・目的 中国から帰国した残留孤児とその家族は、その後呼び寄せもあり、当地域で、その数 2000 人を超えています。彼らが日本人社会に溶け込み、自立した生活をするには日本語の習得が必須です。一日も早い日本語習得に向けて、日本語教室を開いています。此処数年、日本人居住者の間に中国に対する嫌悪感が増えており、それにつれて、帰国者との間にトラブルも増えている。この解決には、お互いのコミュニケーションを密にすることが肝要で日本語の習得は基本です。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
平成 23 年 4 月 20 日	泉が丘図書館 集会室	岡田 進 高橋義江 仲嶋華子 青木美沙子	① 場所確保の件 ② 講師の担当分担 ③ 予算の決定	岡田が責任を持って場所確保を図ること 初、中、高級に分けて、受講者の数に応じて対応する 講師の謝礼(旅費込み)の決定
10 月 9 日	ビッグアイ	岡田 進 高橋義江 仲嶋華子 青木美沙子 松尾和代 梅沢しずえ	① 4 月—9 月出席優良者 7 名決定。 ② 講師欠員の穴埋め ③ 受講者減少への対策 ④ 10 月 29 日の遠足	当初 3 名の予定であったが、同率で 7 名。賞状と賞品決定。 古江富美子氏に頼むことにする 出席優良者への表彰を継続する 鳥取砂丘に決定
平成 24 年 3 月 4 日	泉が丘図書館 集会室	岡田 進 高橋義江 仲嶋華子 青木美沙子 松尾和代	① 24 年度の役員の選定 ② 新規受講者の募集 ③ 場所確保の件	講師の中から 3 名参加してもらう 堺市(援助課、国際課)に働きかけて受講者を募集する。岡田、仲島が責任を持つ 引き続き岡田が場所確保を行う。

		梅沢しずえ		

3 日本語教室の開催について

- ① 講座名 堺市中国帰国者交流会 日本語教室
- ② 開催場所 堺市泉が丘図書館 集会室
- ③ 学習目標 初級者には日常会話の習得、高級者は日本語検定合格。
- ④ 使用した教材・リソース 「みんなの日本語初級ⅠⅡ、中級」スリーエーネットワーク社
「標準日本語900句」世界図書出版、北京
「日本語能力試験」
講師の手作り教材
- ⑤ 受講者の募集方法
ロコミ、堺市国際課の広報版、授業予定表(3ヶ月毎)を配る。イベント(遠足)に参加を呼び
掛けて、教室の存在を知らす
- ⑥ 受講者の総数 76 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
(出身・国籍別内訳)
中国72人、ベトナム3名、米国1名
- ⑦ 開催時間数(回数) 96 時間 (全 48 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日	時間数	受講者数	会場	内容
1	4月20日	2時間	23名	堺市泉が丘図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級」
2	4月23日	2時間	18名	堺市泉が丘図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級」
3	4月24日	2時間	21名	堺市泉が丘図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級」

4	4月30日	2時間	21名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
5	5月1日	2時間	23名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
6	5月8日	2時間	21名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
7	5月15日	2時間	23名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
8	5月22日	2時間	28名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
9	6月5日	2時間	25名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
10	6月12日	2時間	23名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
11	6月19日	2時間	23名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
12	6月26日	2時間	19名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として

					「みんなの日本語初中級
13	7月3日	2時間	17名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けで、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
14	7月10日	2時間	19名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けで、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
15	7月17日	2時間	19名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けで、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
16	7月24日	2時間	17名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けで、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
17	8月7日	2時間	18名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けで、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級。
18	8月14日	2時間	15名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けで、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
19	8月21日	2時間	15名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けで、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
20	8月28日	2時間	19名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けで、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
21	9月4日	2時間	22名	堺市泉が丘 図書館	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けで、

				集会室	対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
22	9月11日	2時間	23名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
23	9月18日	2時間	15名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
24	9月25日	2時間	23名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
25	10月2日	2時間	22名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
26	10月9日	2時間	25名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
27	10月16日	2時間	25名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
28	10月23日	2時間	18名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
29	11月6日	2時間	20名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級1クラス、初級2 中級2、高級1のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級

30	11 月 13 日	2 時間	23 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
31	11 月 20 日	2 時間	25 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
32	11 月 27 日	2 時間	22 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
33	12 月 4 日	2 時間	18 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
34	12 月 11 日	2 時間	15 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
35	12 月 18 日	2 時間	12 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
36	12 月 25 日	2 時間	15 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
37	1 月 8 日	2 時間	15 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
38	1 月 15 日	2 時間	15 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級

39	1 月 22 日	2 時間	13 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
40	1 月 29 日	2 時間	18 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
41	2 月 5 日	2 時間	20 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
42	2 月 12 日	2 時間	17 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
43	2 月 19 日	2 時間	20 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
44	2 月 26 日	2 時間	18 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
45	3 月 4 日	2 時間	21 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
46	3 月 11 日	2 時間	20 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
47	3 月 18 日	2 時間	21 名	堺市泉が丘 図書館	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、

				集会室	対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級
48	3 月 25 日	2 時間	20 名	堺市泉が丘 図書館 集会室	最初級 1 クラス、初級 2 中級 2、高級 1 のクラス分けて、 対応する。教材は原則として 「みんなの日本語初中級

平成 23 年 5 月 22 日

我々の特徴は、誰でも何時でも受け入れる事である。この日突然に事前予告なしで、福島県から 5 名やって来た。聞けば震災で職と住居を失い当地に来たとの事。彼地では職場が全て中国人で占められて居た為、日本語の習得は不必要だったそう。当地の中小企業では、日本語が理解できねば、就職は難しいと判り、我々の所に来たのだ。日本語の程度は全く初級者で、「あいいうえお」から始めねばならない。急きょ永島講師にお願いする。今までの受講者は他の講師が分担することにした。マンツーマンを原則にしており、5 名は限度一杯だ。行政の窓口で聞いてきたとのことだが、事前予告なしで来るとは、ひどいと感じたが、受け入れねば仕方ない。

これから休まず続けることを約束させる。

平成 23 年 11 月 20 日

我々の教室の特徴は「日常会話の習得」に重点を置いていることだ。教材として「みんなの日本語」を採用している。中国語の副読本、と「教え方の手引き」が付いてあり、重宝している。但し内容は当然のことだが、標準語と言うより東京弁だ。受講者が仕事の現場で耳にするのは大阪弁だ。標準語とは語彙も違う点が多い、アクセント、イントネーションも違う。耳にした判らない言葉をひらがなで書いて教室に持ち込んでくる。口写しに教える。これしか方法は無い。今日の教材に落語の「饅頭こわい」が出てきた。上方落語だ。理解が難しい。嘶家桂枝雀の CD を渡し家で聞くよう指導する。大阪弁の勉強になる

平成 23 年 12 月 18 日 ベトナム人が参加する。当教室は中国人向けになっており、教材もその様になっている。豊田講師が引き受けてくれた。図書館で日本—ベトナムの会話本を借りて教材とする。我々はベトナム語は判らない。彼らは少し日本語を理解する。この様な飛び込みの外国人にどのように対処すれば良いか、当方にノウハウは無い。とにかく手取足取でやるより仕方ない。

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

平成 23 年度の日本語検定試験に、1 級 1 名 2 級 1 名が合格した。このニュースに学級全体が湧いた。24 年度に 1、2 級を目指す者も出てきた。うれしい傾向です。より良い就職には日本語の高い能力が要求される。当学級では基本的には、日常会話の習得が基本です。昼は働き、週一回の教室では余程努力しないと、進歩は望めません。とにかく出入りが激しい。受講者には、[継続]をやかましく言っている。

② 学習者の習得状況

アイウエオと日常挨拶からスタートした初心者も継続して学習すれば、三カ月で片言話すようになる
とにかく継続すること、積極的に話すことを強制しています。文法は後回しにし、[てにをハ]の助詞ぬきで
も、しゃべらすようにしている。上級者の中には、上記の如く検定に合格する者も出ている。

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

今年度は講師の交代が一人だけで、漸く教室運営も軌道に乗ってきました。地域でも認められ堺市国際交流プラザのメンバーになり広報誌に載せられました。東北の地震で中国へ帰国する者もあり、受講者が減りましたが、また元に戻りつつあります。日本語習得希望者は減らないと確信しています。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

日本語教室は、堺市中国帰国者交流会の活動の一環として運営しています。
中国帰国者が日本人社会に溶け込むには地域との連携が不可欠です。正直に言って
彼らは日本人社会に歓迎されるものではありません。最近の中国政府の行為から中国に
嫌悪感を持つ人が増えております。我々は色々な地域のイベントに参加し交流を図ってい
ます。日帰り旅行、ふれあい祭り、料理教室などなど。

⑤ 改善点, 今後の課題について

- a. 現状 日本語習得希望の中国人は依然増えています。これに対応するには、優秀な熱心な講師が必要です。幸い今年度は欠員が出ずにすみました。マンツーマンを原則としていますので、欠員は困ります。次に場所の確保です。無料又は安い賃料で貸してくれる安定した場所が欲しい。毎度場所の確保には苦勞しています。語学の勉強にはテーブルコーダーを使いたいが、一部屋で多くの者が学ぶので、使いづらい、もう一室欲しい。
- b. 今後の課題 学習者の定着率を高める必要がある。失業、転職、転宅で突然何の連絡もなくなくなる。折角用意した教材が無駄になり、講師を落胆させる。
この解決の為、今年度から出席率良好者は表彰し賞品を出した。好評です。
賞品は講師が持ちより、賞状はパソコンでの手作りです。
- c. 今後の活動予定, 展望 アンケートを取れば、週にもう一回授業を増やして欲しいとの希望がある。それに応えるには、講師が欲しい、今の講師は高齢で、週二回は無理だ。若い講師が来て欲しい。